

## 5 提案の概要

### 越谷公園

#### 指定管理者：越谷公園マネジメントネットワーク

##### (1) 基本方針

歩く 集う 感じる “健康共生パーク”

～動いて つながり 守りあう スポーツ・交流・環境が育む健康の拠点へ～

1. スポーツで育む からだの健康
2. 地域とつながる こころの健康
3. 自然にふれて 感性の健康
4. 安心・安全で守る くらしの健康

##### (2) 管理執行体制

各業務に求められる専門性・資格・経験を精査し、的確な人員を配置

- ・公益財団法人埼玉県公園緑地協会 常勤職員 4名 + 非常勤職員等 2名
- ・シンコースポーツ株式会社 常勤職員 2名
- ・一般社団法人埼玉県造園業協会 非常勤職員等 3名

##### (3) 維持管理業務計画

- ・安心・安全な公園利用を支える取組

- ・事故・災害への対応体制の強化

- ・施設の修繕・長寿命化への取組

##### (4) 広報の取組

- ・日常的でタイムリーな情報発信

- ・地域と連携し賑わいを広げる

- ・自走できる広報体制の構築

- ・強みを活かした一体的な広報体制

- ・多様な媒体を活用した広報強化

##### (5) 利用者サービス事業計画

- ・来園者・利用者サービスの向上（玩具やストライダーの貸出、ベンチ・縁台の設置など「快適な空間」創出、キャッシュレス決済導入など DX 推進など）

- ・公園のにぎわい創出等に関する取組（ランニング教室などの健康教室プログラムに加え、テニスやスケートボード等のスポーツスクールの開催など）

##### (6) SDGs に配慮した運営

- ・地域との持続的な連携・協働の取組（ボランティア活動団体との持続的な連携、県民・企業・学校・市町村と連携・協働した公園管理の取組など）

- ・環境負荷低減への配慮（環境負荷低減に配慮した物品の購入、施設の管理運営における環境負荷低減への配慮など）

(7) 公園の特性を活かした運営

- ・子どもや若者の居場所づくりや、子育て当事者にやさしい社会づくりの推進（プレーパーク、自然学習プログラム、パパ・ママ、赤ちゃんが利用しやすい情報発信など）
- ・利用者アンケート結果を踏まえた、利用者目線に立った提案（屋外休憩スペースの整備など）
- ・園内の施設や空間を最大限に活かす取組（活用できていない空間の活用（BBQ エリアの整備など）、地域連携への対応・認知度向上（健康カフェ・マルシェの開催）など）

(8) 個人に関する情報の取扱いについての基本方針

- ・プライバシーマーク取得・更新による適正な運用
- ・職員研修やメールソフト導入による対応の徹底

(9) 事故や事件の発生を未然に防止するための予防策

- ・巡回・点検体制の強化、ヒヤリ・ハットと利用者情報の収集
- ・危険行為・不審者等への即時対応、職員研修と体制全体の継続的改善など

(10) 災害時等緊急事態における危機管理に対する具体的対策

- ・危機管理マニュアルに基づく安全の確保、業務継続計画（BCP）の策定
- ・協会本部や他公園などネットワークを生かした応援体制の確保